施策評価シート(令和7年度実施施策)

総合計画体系	政策No.	6	政策名	魅力と個性のある地域づくり	施策主管課	政策財政課
	施策No.	6-2	施策名	多様な交流と連携の推進	施策主管課長名	渡部　雄二
関係課	政策財政課 産業振興課					

1．施策の目的

対象	A 地域 B 町民 C 町民（若い世代） D 町外住民	意図	A 他の地域との盛んな交流や連携が維持されている B 本町を愛し定住する町民が増えている C 結婚・出産の希望がかなえられている D 本町に魅力を感じて移住する人が増えている

2．成果指標　　**上段：目標値　下段：実績値**

	指標名	単位	現状値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
①	A 多様な交流と連携の推進の町民満足度　（増加）（現状値：H28-30平均）	%	58.5	65.3	66.1	66.9	67.6	68.2
				62.7	59.7	62.6	58.8	58.8
②	B 人口における社会動態（転入ー転出）（減少抑制）（現状値：H30時点）	人	-58	-42	-39	-36	-33	-30
				-103	-130	-83	-72	-26
③	C 年間出生者数（減少抑制）（現状値：H30時点）	人	113	100	100	100	100	100
				94	78	69	68	66
④	D 移住・定住相談窓口を通じた移住世帯数（増加）（累計）（現状値：H30時点）	世帯	26	48	53	57	61	65
				65	88	98	112	139

3．指標の分析（成果が向上した、またはしなかった理由）

①	計画期間における実績値は、全体的に下降傾向となった。最終年度においては前年度と同ポイントとなったものの、目標値を9.4ポイントを下回る結果となった。 都市交流事業や移住促進事業について、一部の層における理解が十分に深まっておらず、「よくわからない」との意見が多かったことから、事業内容の周知不足が要因であると考えられる。
②	計画期間における実績値は、全体として減少抑制傾向に推移しており、最終年度においては目標を達成した。 移住促進事業の各種財政支援をはじめ、首都圏でのPR活動や相談窓口等による受入体制の整備が寄与したものと分析している。
③	計画期間における実績値は、全体的に減少傾向となり、目標値に到達しなかった。最終年度においては、前年度より２名減少し、目標値を34人下回る結果となった。 未婚化・晩婚化の進行や働き方の変化などを背景に、全国的に出生数が減少しており、本町においても同様の傾向が見られる。
④	計画期間における実績値は、全体的に上昇傾向で推移しており、最終年度においては、目標値を74世帯上回る139世帯となった。 移住定住支援コーディネーターによる多様な情報発信やきめ細やかな相談体制の構築、さらには移住者に対する各種財政支援制度の充実などが寄与したものと分析している。

4．課題に対する取組（今年度重点的に取り組んだ課題）

・移住等の相談拠点として、空き店舗を活用した移住空き家相談センター(みさとぐらし相談センター)を開設し、気軽に相談できる体制づくりを実践した。
・移住ガイドブックについては、次年度以降のリニューアルを見据え、他市町村の情報収集や改正素案の作成を行った。
・婚活事業においては、出会い創出イベント等を複数回実施するとともに、SNS等を活用し積極的な周知を図った。

5．次年度の方向性（施策の方向性と次年度以降重点的に取り組む課題）

この施策は、第４次総合計画においては、移住定住の促進と交流・関係人口の拡大(施策５-２)に引き継がれる。
これまで実施してきた首都圏フェア等で得られた課題や改善点を踏まえ、情報発信ツールである移住促進パンフレットをリニューアルすることで、移住希望者との最初の接点において、本町の魅力や暮らしのイメージをより効果的に伝え、移住・定住への理解の深化に繋げていく。

６．施策を構成する事務事業（方向性と次年度以降重点的に取り組む主要な事業）

番号	事業通番	事務事業名	令和7年度決算額(千円)	最終評価結果			主要事業
				成果の方向性	コストの方向性	今後の方向性	
1	5815	住宅用地販売管理事業	2,459	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
2	14413	ネウボラ推進事業	21,102	現状維持	現状維持	⑤現状維持	
3	14625	移住促進事業	35,113	現状維持	現状維持	⑤現状維持	○
4	16944	都市交流推進事業	1,358	現状維持	現状維持	⑤現状維持	